

前田地区の高台に広がる蕎麦畑。連なる山並みとすっかり秋めいた空をバックに白い花が揺れていました。



飯舘 百景

初秋の農地で



広がる水田に稲穂が揺れます。(前田・八和木)



WCSのロールがきれいに整列。(大久保・外内)
※WCS=ホールクroppサイレージ



大きく育ったデントコーンの収穫。(飯舘町)

前田地区、明神岳の山麓に広がる段々の蕎麦畑も、美しい景色を見せていました。上下の段差が大きいので、地上から二度に眺めることはできませんが、畑と畑の間の道路を進んで行くと、次々に白い花畑が現れます。清々しい景色に見とれる一方で、新蕎麦の季節が待ち遠しくなりますね。

WCS(ホールクroppサイレージ/稲発酵粗飼料)のロールも、さらに多くの地区で見かけるようになりました。ロールの積み方もさまざまあって、ちょっと不思議な景色が楽しめます。

また、さまざまな用途のある「デントコーン」の収穫風景にも出会いました。背の高い作物ですが、大型機械であつという間に刈り取られていきました。そして村内は稲刈りの季節へ。実りの秋が深まっています。

一段と農地の活用が進んでいることは、風景からもうかがえます。昨年までは休んでいた農地にも稲の穂が揺れ、広々とした水田の風景に、「ようやくここまでできたか」と元気をもらった人も多かったのではないのでしょうか。

猛暑が続いた後に、すっと涼しくなると、秋の気配が感じられるようになりました。

稲の穂が実り始めた頃、あちらこちらで蕎麦の花も咲き始めました。